

行動

高校2年生になり、始業日に学校で不穏になり、液体肥料を異食した。学校登校に対し、不安が強い。

原因

- ・不安な気持ちを伝えることができず、パニックになってしまった。
- ・高校1年生の2学期頃より、不登校になる。
- ・学校に対し、勉強面、人間関係等、苦手意識が強く、モチベーションがとても低い。
- ・自己肯定感が低く、学校での失敗を恐れている。
- ・本当は友達や先生と楽しく過ごしたいが、対人関係に不安が強い。
- ・学校で安定・安心できる場所、人間関係がない。

支援

- ・不安を抱えるうちの登校は止める。
- ①リモートで、個別に担任の先生と短い時間の会話をすることから始め、先生との信頼関係の構築をはかる。
 - ②リモートで朝の会、帰りの会に参加する。リモート参加に慣れてきたら、木曜日のホームルーム（1時間）にリモートで参加を開始する。
 - ③1学期、終業日に帰りの会のみ、登校する。
 - ④2学期は短い時間での登校日を増やす（月に2～3回）
 - ・スクールバスが苦手のため、自主登校を視野に入れ、自主登校の練習も同時に行う。

結果

- ・リモートで話す時には緊張することなく、先生と楽しい時間を共有することができ、信頼関係を築くことができた。
- ・担任の先生と児童についての共通理解を深めることで、児童に対しての登校支援の形が広がり児童にとって、無理のない登校が実現した。
- ・同時に行った自主登校支援が、児童にとって自信となり、自己肯定感が上がり、登校に対しての気持ちが高まった。